

「グローバルフェスタJAPAN2017」実施報告

平成 29 年 11 月 30 日
外務省国際協力局政策課



岡本三成外務大臣政務官からピコ太郎氏
にSDGs推進大使を委嘱



堀井巖外務大臣政務官とオリエンタルラジオが
SDGsを楽しく紹介

- 2017年開催テーマ:「Find your Piece!～見つけよう、わたしたちにできること～」
- 開催日時: 9月30日(土)・10月1日(日)
- 開催場所: 東京 お台場センタープロムナード(シンボルプロムナード公園内)
- 出展者数: 266社・団体
- 来場者数: 12万861名(過去最高)

■ 概要

「グローバルフェスタJAPAN」は、ODAを含む国際協力の現状や必要性、政府とNGO、市民社会、自治体、民間企業の協力についての理解と認識の促進などを目的に毎年開催される、国内最大級の国際協力イベント。1954年に日本がコロンボ・プラン(戦後最初に設立された途上国援助のための国際機関)に加盟した日を記念した10月6日の「国際協力の日」に合わせ、例年9月末～10月上旬頃に実施されている。(外務省・JICA・JANIC共催)

■ 全体総括

会場を日比谷公園からお台場に移してから3回目、イベントとしては27回目を迎えた今年は、岡本三成及び堀井巖両外務大臣政務官の参加を得て、昨年に引き続き“持続可能な開発目標(SDGs)”をテーマに実施した。SDGsをまず知ることに重点を置いた昨年の実施内容を基礎に、本年はSDGsに掲げられた“世界を変えるための17の目標”を「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉えてもらうことを目指した。SDGsを、ピースが一つでも欠けると完成しないパズルに例え、私たち一人一人の取組を“パズルのピース”と表現。SDGsは、世界が一丸となって取組むことで達成できる目標であるというメッセージを込めた。

開発協力に対する無関心層から関心層までを含む幅広い年齢層にリーチすべく、著名人を含む多彩なステージプログラムや専門的なワークショップ等をほぼボランティアベースで実施することができたほか、SDGs啓発に力を入れている吉本興業の協力を得て、ワールドイベント(スタンプラリー)も実施した。天候にも恵まれ、来場者数は過去最高を記録した。

■ イベント報告



オープニングセレモニー



外務省写真展表彰式



エントランスアーチ

初日には、7月に国連で「P P A P × S D G s」を披露したシンガーソングライターのピコ太郎氏（<https://www.youtube.com/watch?v=H519RHeAT10>）も登場した。日本政府は、S D G s の 1 7 番目の目標に掲げられている「パートナーシップ」において、「P P A P（Public-Private-Action-for-Partnership/官民連携）」を重視。この偶然の一致から生まれた新パフォーマンスで会場を盛り上げたピコ太郎氏は、岡本三成外務大臣政務官から「S D G s 推進大使」を委嘱され、日本と世界を元気にする「S D G s 推進大使」が誕生した。

また、2年連続出場となるお笑いコンビ・オリエンタルラジオのステージでは、外務省による解説も交えながら、身近で取り組めるS D G s を紹介。同ステージには堀井巖外務大臣政務官が登壇し、「すべての人がS D G s を『自分ごと』と捉えることが国際協力の第一歩」と呼びかけた。

共催者代表等の登壇によるオープニングセレモニー及び写真展（外務省主催）の表彰式も行われた。「Share your Piece～わたしたちが伝えたい世界～」とのテーマで行われた写真展には、国際協力の現場を伝える作品等計128点の応募があり、そのうち個人部門及びN G O 部門からそれぞれ上位3点を選出し、賞状と副賞（オリンパス株式会社提供）が贈呈された。



個人部門最優秀賞

「日本からケニア国への初めての消防技術援助」



N G O 部門最優秀賞

「自分の未来を切り開くために」

また、外務省による特設ブースには、平成30年に30周年を迎える「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を紹介する写真展示や、「人道支援」をテーマとしたコーナーも設置された。



写真展の様子



「草の根」特設コーナー



来場者からのメッセージ

2日間を通して、様々なアクターによるSDGsや国際協力に関する取組みが紹介された。



SDGs ビジネスについての
トークセッション



元オリンピック選手の
為末氏と国際交流を語る



開発協力分野の就活を
先輩たちと考える



SDGs を用いた地域問題
の解決に取り組む学生の発表



庄野真代×「国境なき楽団」
ライブ&トーク



映像×国際協力
映画がもたらす力について



開発教育について考える



吉本興業の協力による
スタンプラリー



外務省ブースで
SDGs クイズを実施



外務省による座談会
(政府とNGOとの連携)



外務省による座談会
(気候変動の影響)



国際機関で働きたい人に
外務省職員がアドバイス

会場の様子



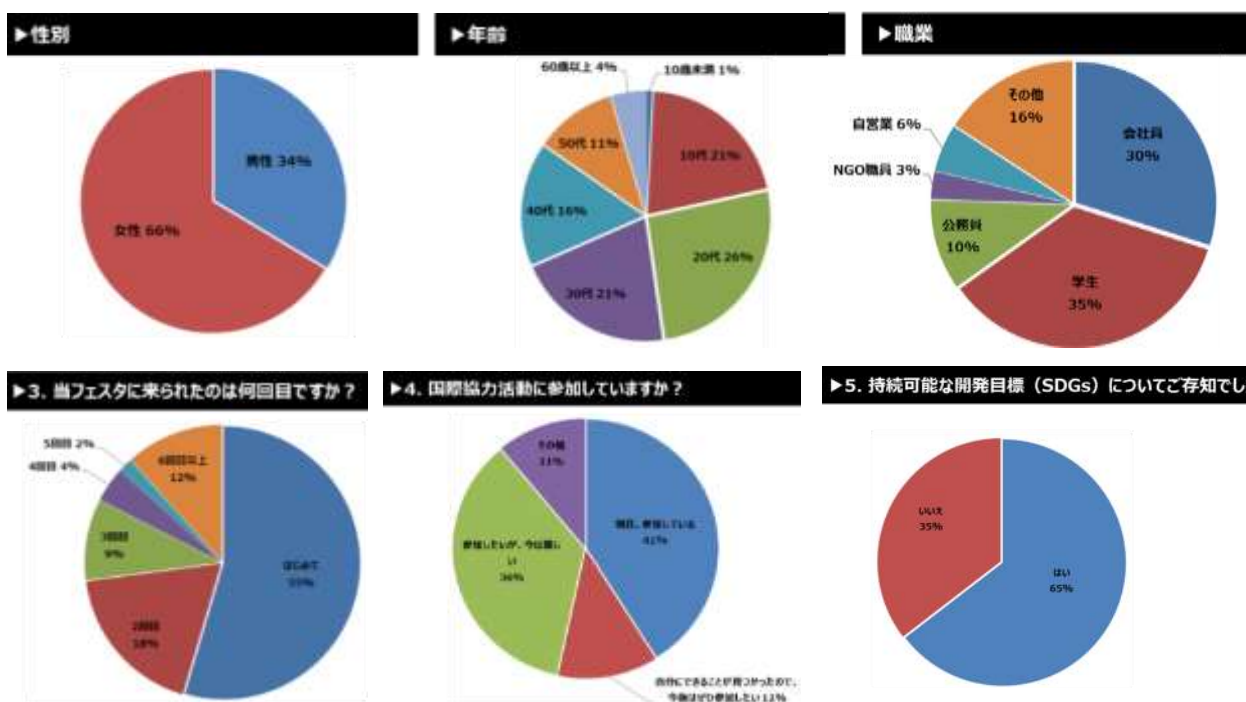
■ アンケート結果（計 240 名）

10～20代が過半数（53%）を占めていた昨年と比較すると、啓発強化対象である若者層の関心を維持しつつも、各年齢層に対しよりバランスよくリーチすることができた。

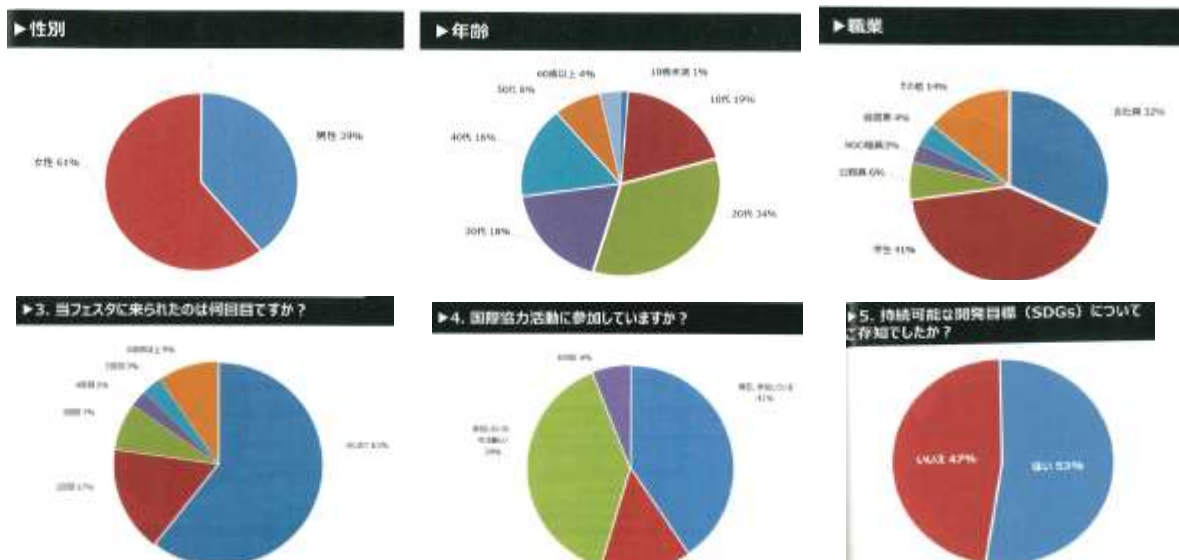
また、初めての来場者は55%と依然として最多であり（昨年は61%）、総来場者数（12万861名）を考慮すると、本イベントは無関心層に対する大きな啓発機会になっていると捉えることができる。なお、2回目以上の来場者が昨年の39%から45%に増加している点からは、本イベントが関心層の知的満足度も充足させていることが確認できる。

更に、SDGsを認識していた層は65%に上り、昨年の53%から大幅に増加した。

今回、来場者数が過去最高を記録した背景は、天候、「お台場イベント」としての定着、ステージ企画に対する関心等、複合的であると思われるが、アンケート結果からは、国際協力やSDGsに対する関心が着実に広がっており、「グローバルフェスタ JAPAN」がその一端を担っていることが窺える。



（昨年度アンケート結果）



（了）